

当社は、産業用ロボットや半導体製造装置向けをはじめ、需要が急拡大している波動歯車装置の生産能力を引き上げるべく、有明工場と松本工場で設備投資を実施します。この設備投資では、最新鋭の性能を有し省エネ性能にも優れた工作機械やロボット等の導入を通じ、自動化率と生産性を高めると同時に、エネルギー消費にも配慮したラインを新設します。さらに有明工場では、全ての使用電力を再生可能エネルギーに切り替えることにより、CO₂排出量を削減し、炭素生産性の向上を図ります。

1. 事業適応計画の実施期間

2022年3月～2024年3月

2. 生産性向上目標

炭素生産性を161.6%向上させます。

3. 前向きな取組の内容

・有明工場に波動歯車装置の製造ラインを新設

既存ラインに比して、より高い自動化率と生産性の実現を企図したラインを新設し、炭素生産性を向上させます。

・松本工場の部品加工能力を引き上げ

有明工場への部品供給の役割を担う松本工場にも、省エネ性能に優れた最新の機械を導入し、炭素生産性を向上させます。

・再生可能エネルギーへの切替

有明工場の全ての使用電力を再生可能エネルギーに切り替えることで電力消費に伴うCO₂排出量をゼロにします。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

波動歯車装置の生産能力を増強する工場の外観

有明工場（長野県安曇野市穂高有明5103-1）



松本工場（長野県松本市大字和田4020-18）

